

# 平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 地域包括ケア課  
 担当名: 地域包括ケア担当  
 内線: 3256 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B11	地域包括ケアシステムモデル事業			一般会計	民生費	社会福祉費	老人福祉費	介護保険制度推進事業費	
事業期間	平成28年度～平成31年度	根拠法令	介護保険法第5条第2項			戦略項目	02 介護の安心		
						分野施策	010201 高齢者が安心して暮らせる社会づくり		
1 事業の概要 地域包括ケアシステムのモデル事業を都市と町村で実施し、それぞれのシステム構築の手法を示すことで、市町村の地域包括ケアシステムの構築を促進する。 【2月補正の概要】 一般財源から地域医療介護総合確保基金(介護分)へ財源を更正する。また、認知症モデル事業について減額する。 財源更正額: 29,347千円 減額: 2,150千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 自立促進モデル[基金への財源更正額: 23,299千円] 26,499千円 (ア) 自立支援型地域ケア会議の立上げを支援するため、専門職で構成する「自立支援チーム」を派遣(委託事業) (イ) 薬剤師及び栄養士に対し、自立支援型地域ケア会議で効果的な助言をするための研修を実施(委託事業) (ウ) 事業の効果検証、地域ケア会議の運営マニュアル等、コーディネーター養成研修を実施(委託事業) (エ) モデル市町村以外の市町村に対し、自立支援型地域ケア会議のアドバイザーを派遣 (オ) モデル事業運営のための人件費を市町村へ補助 イ 介護予防モデル[基金への財源更正額: 1,501千円] 8,058千円 (イ) 元気支援教室の立上げ支援と実践マニュアルの作成(委託事業) (イ) 立上げノウハウの習得、円滑な運営ノウハウの共有を図るため市町村・アドバイザー合同研修を実施 ウ 生活支援モデル[基金への財源更正額: 3,009千円] 17,613千円 (ア) アドバイザー派遣と担い手の発掘のフォーラムの実施(委託事業) (イ) 担い手養成研修や活動拠点等への補助 エ 認知症モデル[減額: 2,150千円] 4,663千円 (ア) 認知症カフェや医師による専門相談窓口の設置を通じ、認知症の人と家族への相談支援体制を構築 (イ) 支援ガイドラインの策定と認知症医療介護情報連携シートの作成を通じ、切れ目のない支援を構築 オ モデル事業運営等[基金への財源更正額: 1,538千円] 3,960千円 (ア) モデル事業運営: モデル市町村の取組状況について、成果報告会等を開催 (イ) モデル事業の進捗管理: 有識者等による事業の進捗管理 (2) 事業計画 平成31年度までに都市と町村に分けて事業を実施し、効果を検証、地域包括ケアシステム構築の手法を確立する。 (3) 事業効果 都市と町村で実施した手法を市町村に提示することにより、地域包括ケアシステムの構築を着実に進める。 (4) 補正予算の概要 一般財源から地域医療介護総合確保基金(介護分)へ財源を更正する。 また、認知症モデル事業について減額する。					
2 事業主体及び負担区分 (1)、(3)～(5)(県10/10) (2)(国1/2・県1/2)、(県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4人=38,000千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	繰入金	諸収入					
決定額	△2,150		29,347				△31,497	60,793	
現計額	62,943	1,075		82			61,786		